

日本シティズンシップ教育フォーラム

2014 年度事業計画

1. 事業計画案

(1) ネットワーキングの場の創出

■ ネットワーキング・ミーティングの企画

シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換、広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的とし、第 1 回目のネットワーキング・ミーティング「シティズンシップ教育ミーティング」を開催する。

(日程：2014 年 3 月 15 日、16 日／場所：立教大学)

■ 「クロストーク」の定期開催

シティズンシップ教育に関連するテーマを取り上げ、参加者同士で深め合うためのセミナーを定期的に開催する。運営委員が持ち回りでコーディネーターを担当することとしたい。

(頻度：年 4 回〈西日本 2 回、東日本 2 回：6 月、8 月、10 月、12 月〉)

なお、継続的に特定の課題について議論を深めるための「研究会」の設置も検討する。研究会での成果をテキストや報告書などの形にしてアウトプットしていく。

(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作

■ ウェブサイトを活用した情報発信

「イベントカレンダー」を活用し、シティズンシップ教育に関連するセミナー・研究会等の情報を発信する。また、シティズンシップ教育やサービスラーニング等の研究会のセミナーレポートを作成し会員用ウェブページ上で公開する。これを通じて、東京圏以外の実践者や研究者への情報流通を実現する。

■ ニュースレターの発行

シティズンシップ教育の好事例の発掘・紹介、シティズンシップ教育に深く切り込む特集記事などを中心としたニュースレターを発行し、会員には無償配布する。また、J-CEF がプラットフォームとなって生まれた協働事例（共同研究や研究会、協働事業）についても積極的に情報発信していく。

(発行頻度：年 4 回〈2 月、5 月、8 月、11 月〉)

(3)実践を広範に推進する社会環境の創造

■シティズンシップ教育セミナーの実施

教育行政や学校教育でのシティズンシップ教育の関心の高まりを受け、シティズンシップ教育の理論的な基礎理解と先導的実践への理解を深めるセミナーを「シティズンシップ教育ミーティング」（2014年3月）内で開催する。また、シティズンシップ教育に関する既存の各種研究大会等と連携し、大会内での分科会等の開催を目指す。

■教員を対象としたシティズンシップ教育テキスト作成

多様な形での学校におけるシティズンシップ教育の事例の理解を深め、同時にその高度化を推進することを目的としたテキストを発行する。シティズンシップ教育に関心を寄せていたり、既に実践に取り組んでいたりする学校教員の実践の支えとなるものを目指す。

（発行予定：2015年3月）

■「実習生制度」の検討開始

シティズンシップ教育の実践者を発掘・育成することを目的とした実習生制度の設計について検討を開始する。上述の「研究会」の活用も視野に入れる。

（運用開始目処：2015年度）

2. 事業推進体制案

■経営体制

運営委員会を設置し、総会に付議すべき事項や総会の議決した事項の執行に関する事項等について決議する。開催頻度は、概ね3ヶ月に1回程度とする。

■執行体制

事業執行にあたっては、専門委員からなる部会を設置し事業執行にあたる。2014年度は「ネットワーキング部会」「情報発信部会」「人材養成部会」の3つを設置する。

■事務局

経営・執行を支えるため、以下の事務局体制を整える。事務局長（西日本1名）、事務局員（東日本3名、西日本1名）、インターン（東日本2名以上、西日本1名以上）、ボランティア（ネットワーキングミーティング時募集、15名程度）。

以上